

ぶらりわが街宮沢界限

(27) 花・樹木をながめてぶらり散歩(春) —I—I— サクラ(桜)

四季折々の花・樹木を眺めながら、歴史や文化をたどる散歩はいかがですか。

サクラ(桜)の花は、日本の国花となっているだけあって、名所と言われる場所は数え切れないほど多いです。身近にあるサクラのお花見を満喫なさってください。

○ カウツザクラ(河津桜)

大神町 4-69 先、多摩川堤防上(地域の憩いの場)。平成 15 年(2006) 10 本植樹

カウツザクラは、国産のサクラの一種であり、本州で最も早く咲き 1 月下旬～2 月にかけて開花。花は桃色ないし淡紅色でソメイヨシノより桃色が濃く、また花期もパーッと咲きパーッと散る感じではなく、早咲きサクラの特徴でもある、1 カ月位と長く、3 月初旬に満開になります。

昭和 30 年(1995) 飯田勝美氏が、静岡県賀茂郡河津町田中の河津川沿い冬枯れの雑草の中で、芽吹いているサクラの苗を偶然発見し、自宅に移植し 41 年(1966) 開花が見られた、現在も原木が飯田家の前庭にあります。43 年(1968) 伊乘市在の勝又光也氏により実生から苗木が増殖されるようになった。当初、発見者飯田氏の屋号から「小峰桜」と地元で言われてきたが、その後、オオシマザクラ系とカンヒガンザクラ系の自然交配による新種と判明、カウツザクラ(河津桜)と命名されました。現在、150～200 万人の観光客が花見に訪れる、人気スポットです。

○ ソメイヨシノザクラ(染井吉野桜)

サイクリングロード脇の桜—宮沢町 3-15 先。

八高線鉄道事故車両(平成 16 年(2004) 展示)～市民プール(宮沢町 3-16-1 昭和 48 年(1973) 7 月 1 日開設)間の 483m、約 70 本のソメイヨシノ—市制 25 周年(昭和 54 年(1979) 記念樹で、54 年～56 年の 3 年間で高さ 3、5m の苗木を植樹。満開期には、お花見でにぎわいます。

ソメイヨシノは、日本原産のエドヒガンザクラ系とオオシマザクラ系の交配でうまれたと考える国産の園芸品種である。実は小さくわずかに甘みがあるが、苦味と酸味が強いために食用に向かない。種子では増えず、各地にある樹は全て接木(つぎき)などで増やしたもので、ほぼクローンである。江戸末期から明治初期に江戸の染井村(現、豊島区駒込・巢鴨)の造園師や植木職人たちによって育成し、集落の名前から命名されました。現、山手線駒込駅北口を出てすぐに、豊島区立「染井吉野楼記念公園」があります。明治の中頃より、サクラの中で圧倒的に多く植えられ、今日では、気象庁が発表する「サクラが開花した。」という時の特定種で、現在の観賞用サクラの代表樹です。花弁は 5 枚で葉が出る前に花が咲き満開となる。樹高は 10～15m。

寿命—ヤマザクラやエドヒガンザクラに比べて、ソメイヨシノは、高齢の樹が少ない。それは、成長が早いのでその分老化も早いという説もある。＝「60 年寿命説」なる俗説があるが実態は不明。実際に神奈川県秦野市の小学校では、明治 35 年(1902) 植樹された樹齢 100 年を超える 2 本の老樹があります。

記

防犯宮沢支部 西山 禎一

濃いピンク色の花が美しいカウツザクラ

